

第二回日本物流学会若拓研究会開催のご案内

日本物流学会若拓研究会 座長
明治大学商学部 教授
町田 一兵

昨今の物流学会全国大会の承認を得て、これまで活動してきたロジスティクス・フロンティア研究部会と物流新イメージ研究会を統合し、新たに研究部会（本部付部会）として「日本物流学会若拓研究会」を新設することに致しました。

これまで多数の物流研究会がある中、若拓研究会では、大学院生、若手研究者が研究成果やアイデアを発表し合って、お互いの情報交換や研究の活性化を目的とします。従って、博士後期のみならず、博士前期、物流業界に努めて5年前後の若い方も是非参加し・発表の場として活用してもらいたいと考えております。なお、本研究会の参加者は会員ないし今後学会に入る予定の方を対象にしているため、現時点では日本物流学会の正（準）会員でなくても **参加可能** です。

つきまして、第二回日本物流学会若拓研究会を下記の時期で開催します。なお、コロナウィルスの蔓延がまだ止まらない状況を鑑み、ZOOM形式で開催を行います。

開催時期

2021年5月8日（土曜日）午後13：30～

Meeting ID: 960 9991 3029

Passcode: 774260

発表内容

- ① 中国山東半島における港湾インフラ整備の現状と課題（30分）
発表者：劉 旭彬（リュウ キョクヒン、福島大学経済学研究科博士前期課程）

- ② 「仮」二度の世界大戦とイギリス海運 -戦時経済のもたらした変化-（30分）
発表者：太田 慧（オオタ ケイ、明治大学商学研究科博士前期課程）

日本物流学会若拓研究会の開催にあたり、学会諸理事方を始め、ご研究室に大学院生が在籍しておられる諸先生方に是非当研究会の参加を呼び掛けてくださるよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具